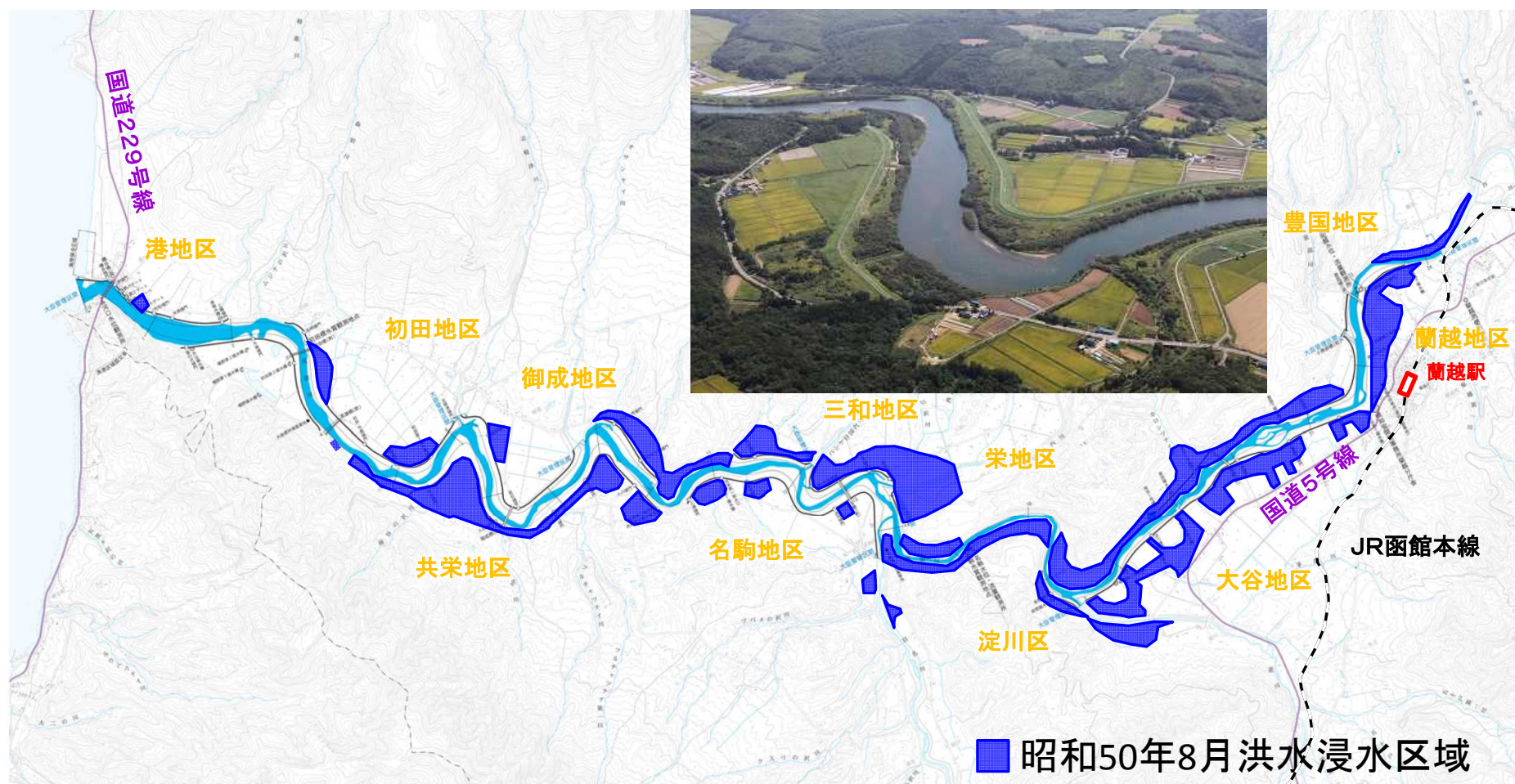


「水防災意識社会再構築ビジョンに基づく  
尻別川の減災に関する取組方針(案)」

尻別川水防連絡協議会 尻別川減災対策委員会・幹事会

### 3. 尻別川の概要と主な課題～尻別川の地形的特徴～

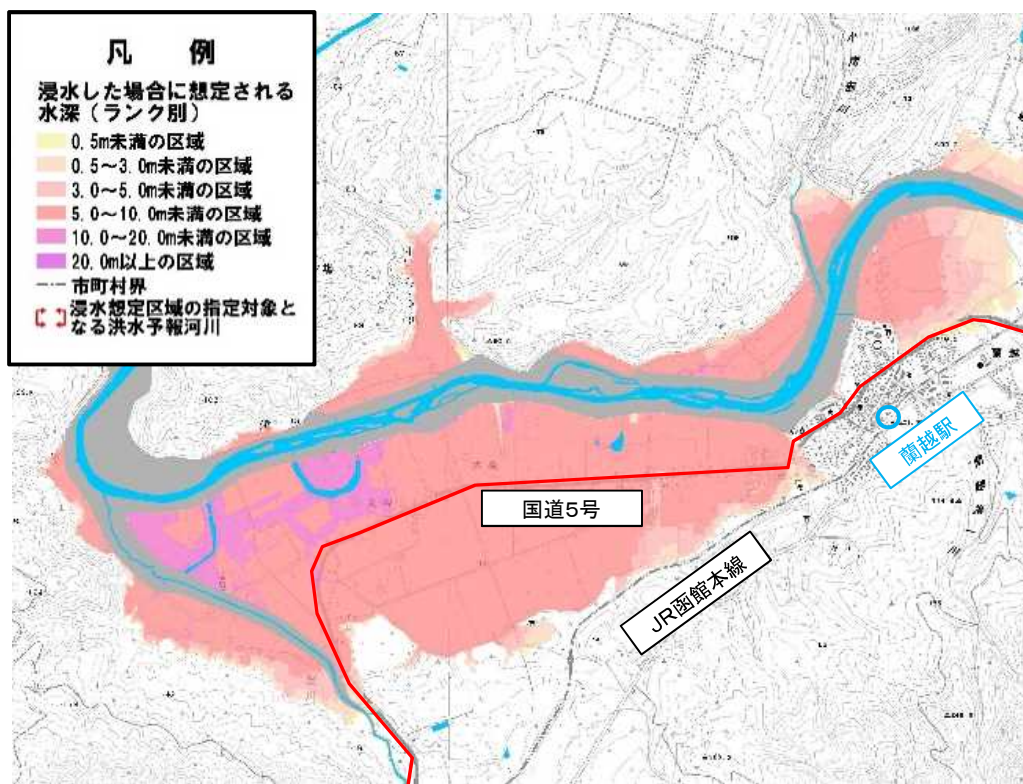
- ① 山地に挟まれた地形(谷底を流れるような地形)を流下することから、流域内に降った雨は短時間で尻別川に集中する。
- ② 特に下流部の蘭越町では低平地を大きく蛇行しながら流下し、河川沿いの低平地には分散して集落や水田が形成されており、氾濫原に資産が集積している。



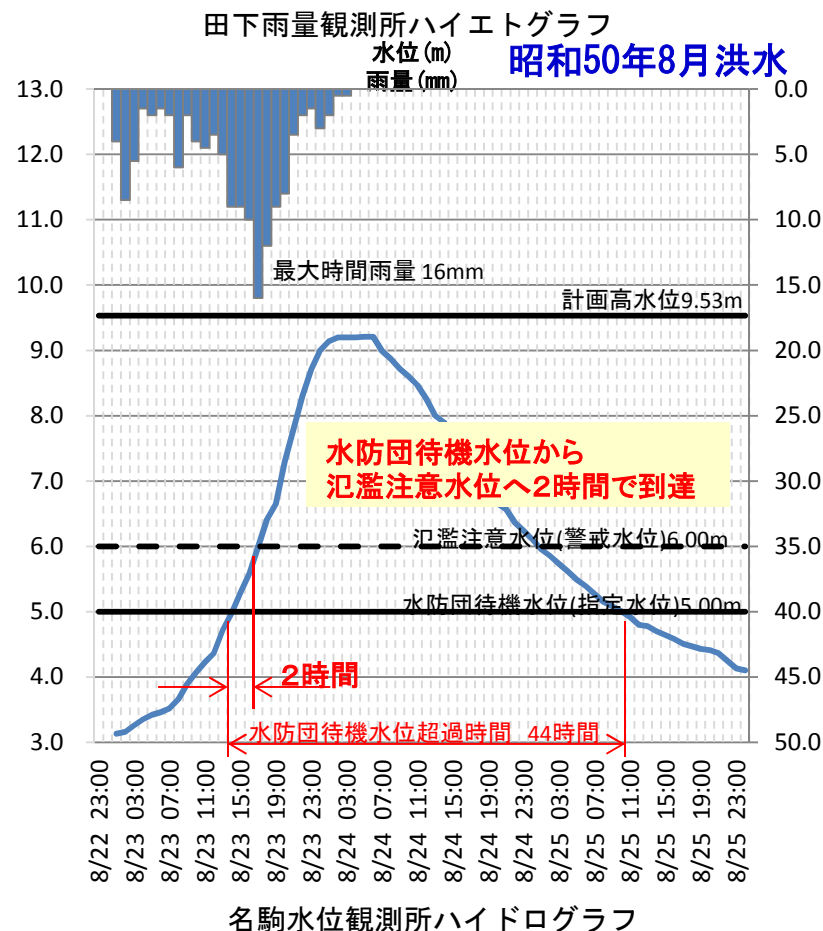
### 3. 尻別川の概要と主な課題～尻別川流域の主な課題①

#### ○点在する集落が広範囲にわたり浸水

急激な水位上昇による避難の遅れが想定されることに加え、氾濫した場合は浸水域が短時間で住居エリアへ拡大し、避難が困難となる浸水深に達するおそれがあるため、的確な水防活動による避難時間の確保や自発的な避難行動を促すための取組、確実かつ適切なタイミングでの避難情報を伝達することが重要である。



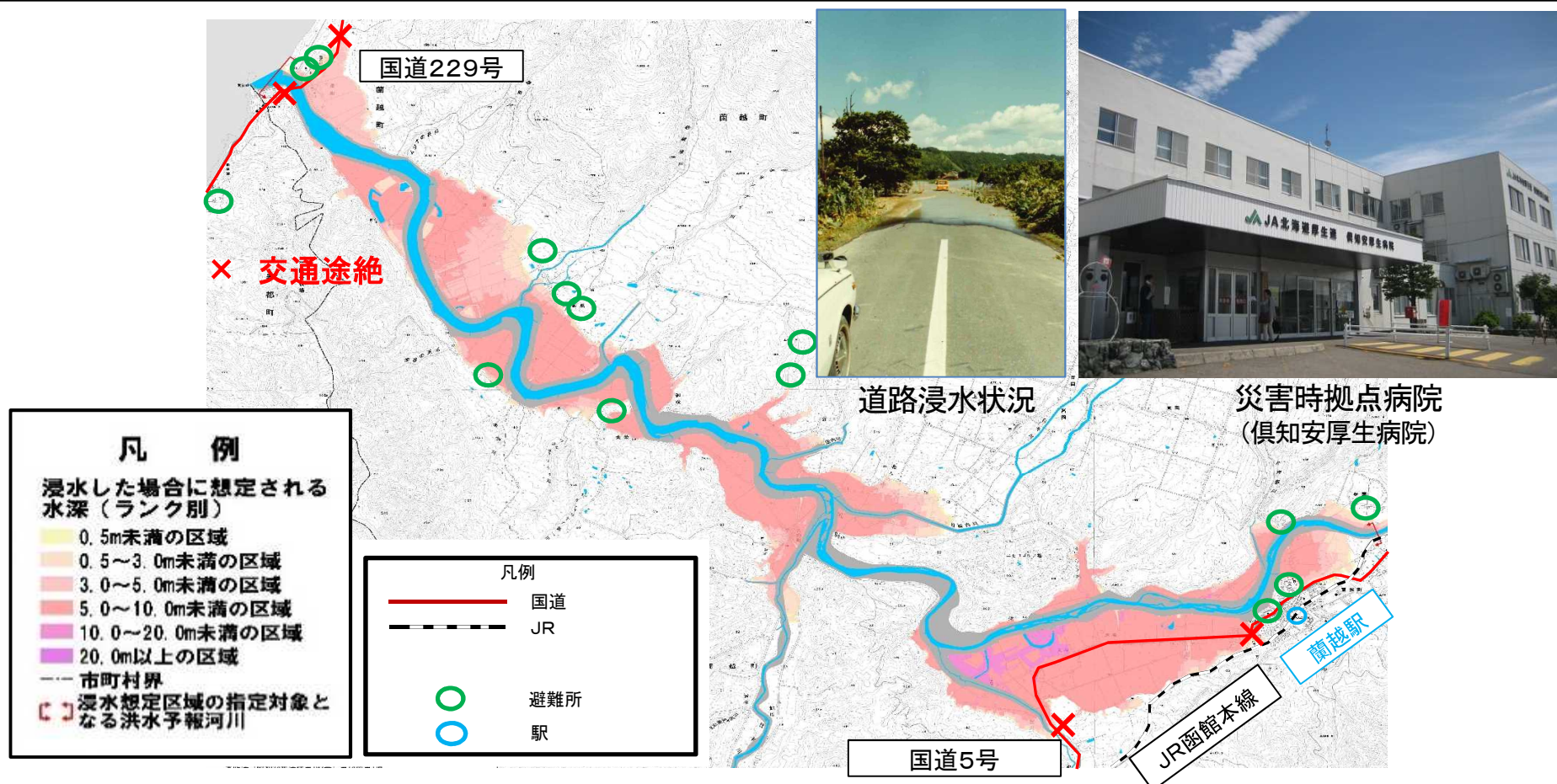
想定し得る最大規模の洪水に対する浸水想定区域図  
(蘭越市街地、大谷地区)



### 3. 尻別川の概要と主な課題～尻別川流域の主な課題②

#### ○浸水による主要交通網の途絶

流域の低平地がほぼ全域浸水することにより、主要道路の交通途絶が発生し、避難が困難になるとともに、負傷者の災害時拠点病院への搬送や周辺市町村からの支援受入に時間を要するおそれがあることから、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所を設定することに加え、効率的な排水計画の検討や迅速・的確な排水活動を実施することが重要である。



### 3. 尻別川の概要と主な課題～尻別川流域の主な課題③

#### ○氾濫による基幹産業(農作物)への影響

尻別川沿いの浸水が想定される低平地には、点在する集落のほか地域ブランド「らんこし米」の水田地帯が広がることから、基幹産業の社会経済活動の早期復旧にも考慮した、効率的な排水計画の検討や迅速・的確な排水活動を実施することが重要である。



低平地に広がる田園地帯



排水活動

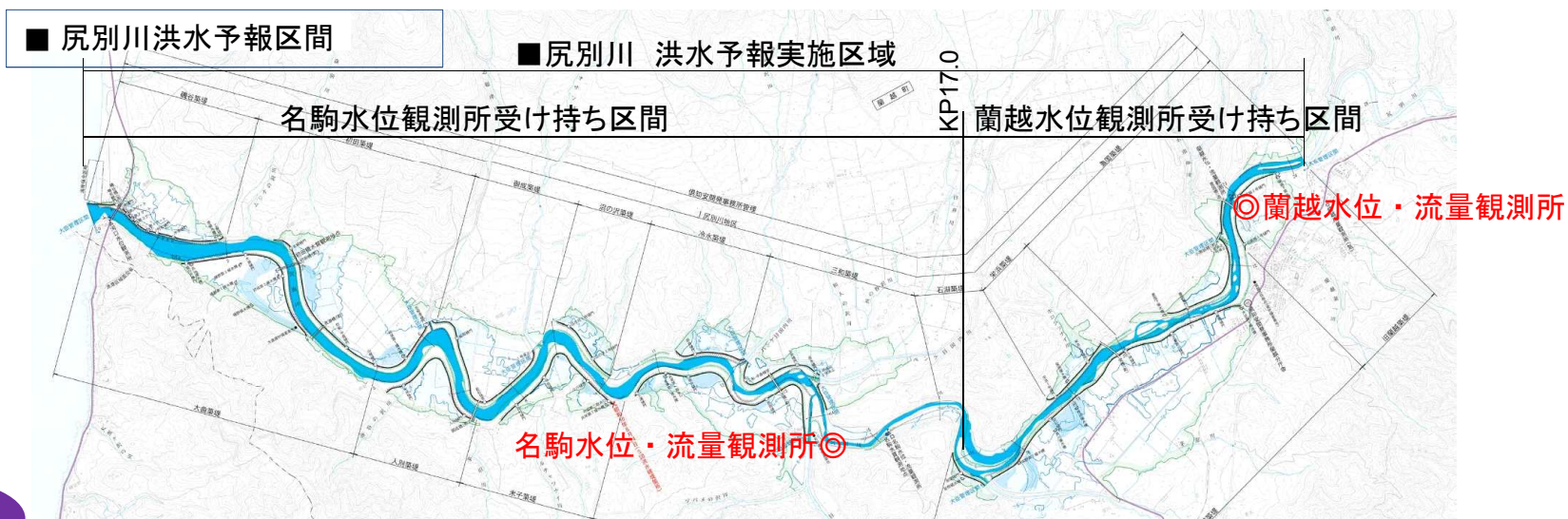
## 4. 現状の取組状況

### ①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

#### 現状

- ・ 避難勧告の発令の目安となる氾濫危険情報の発表等の洪水予報を実施している。
- ・ 重大災害の発生のおそれがある場合には、小樽開発建設部長(倶知安開発事務所長)から蘭越町長に対して情報伝達(ホットライン)をしている。



#### 課題

A

- ・ 洪水予報等の防災情報が受け手側にとってわかりにくいこともあり、住民にとって防災情報の持つ意味が理解されず、情報を受けた場合でも適切な行動に結びつかないことが懸念される。

# 4. 現状の取組状況

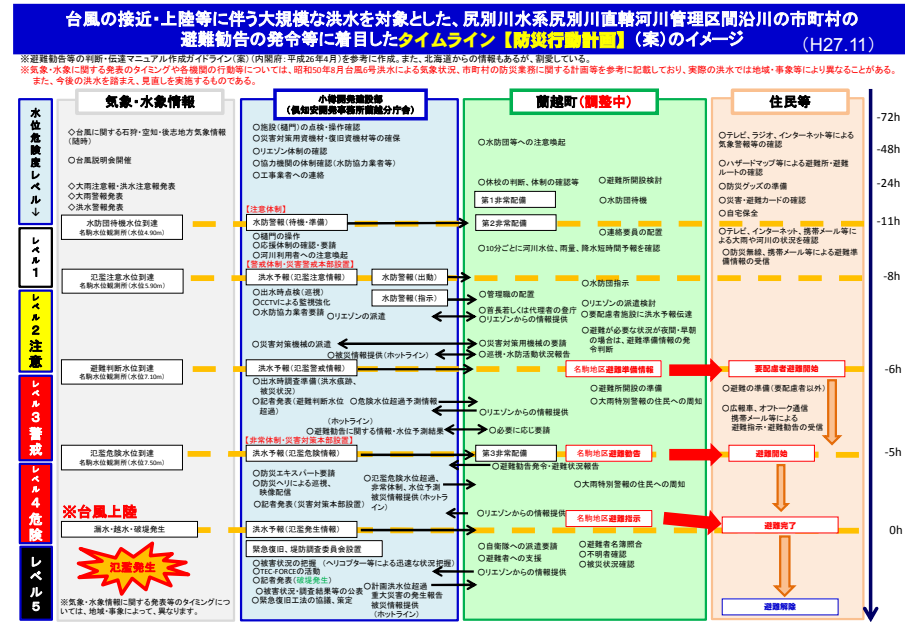
## ①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、  
『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

現状

・避難勧告等の発令に着目したタイムラインを検討している

蘭越町の避難勧告等の発令に着目したタイムライン



課題

B

・タイムラインを早期に策定し、訓練を通じた精度向上と合わせて、円滑な運用を可能とするために、各地域における避難勧告等の発令タイミングや、避難情報の伝達方法等を予め整理することが求められる。

C

・現時点では、住民への避難情報の提供や、地域毎に大規模浸水に対して利用可能な避難施設を考慮した、必要な避難時間が反映されたタイムラインになっていない。

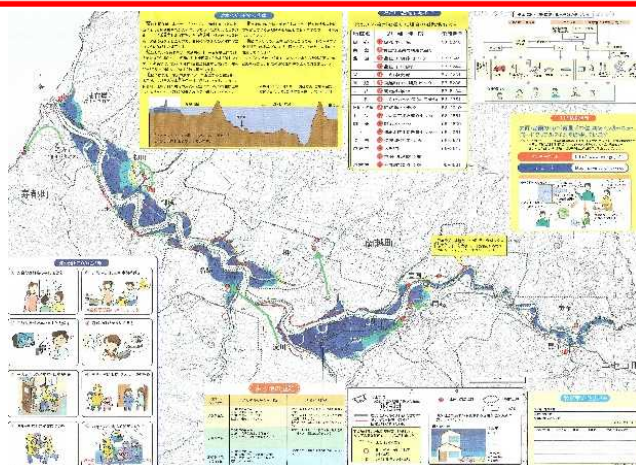
## 4. 現状の取組状況

### ①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

現状

- ・ 浸水想定区域図に基づき、洪水ハザードマップを作成し浸水範囲、避難所、避難場所を周知している。また、まるごとまちごとハザードマップを設置している



課題

D

- ・ 浸水想定区域図等に記載された浸水深等の情報が、リスクとして住民に理解されず、情報を受けた場合でも適切な行動に結びつかないことが懸念される。

E

- ・ 避難施設への避難経路を指定していないため、いざという時に利用するルートが浸水しているなど、適切に行動できないことが懸念される。

F

- ・ 避難者が集中した場合には、近傍の避難施設が利用できないことが懸念される。

G

- ・ 国道・道道の浸水により、住民の避難や災害拠点病院への搬送等が困難となることが懸念される。
- ・ 低平地には垂直避難できる施設が無いことから、浸水深の深い区域においては、避難が困難になることが懸念される。

H

- ・ 浸水による、国道、道道、町道、JRの途絶状況が的確に周知されず、避難等に支障が生じることが懸念される。



## 4. 現状の取組状況

### ①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

#### 現状

- ・ 気象情報や河川水位、洪水予報等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
- ・ 避難に関する情報や避難の際の注意情報を、防災無線、広報車等により伝達するとともに、新たな防災通信システムとして、全戸への屋内端末機と屋外スピーカーによる情報伝達網の整備を進めている。
- ・ 避難誘導は、地域防災計画に基づき町職員、警察、水防団が実施する。

#### 課題

I

・ 屋内にいる場合、風雨などの騒音等により、音声による情報の聞き取りが困難となることが懸念される。

J

・ 高齢者など災害時要配慮者等一部の住民には、一般的な情報の伝え方では理解が難しく、適切な避難行動に結びつかないことが懸念される。

K

・ 水防団員が少ないため、避難誘導時の人員が不足することが懸念される。

L

・ 地域防災計画には、町職員、警察、水防団それぞれの役割が明確に規定されておらず、出動時の混乱が懸念される。

## 4. 現状の取組状況

### ②水防に関する事項

『河川水位や洪水リスク等に係る情報提供』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、  
『その他』

#### 現状

- ・ 河川水位、洪水予報、ライブ映像等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
- ・ 基準観測所の水位により水防警報を発表している。
- ・ 平常時に水防活動の効率化を図るため、関係機関と水害リスクの高い箇所での合同巡視を実施しており、出水時には水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を実施している。

国土交通省北海道開発局  
河川リアルタイム情報



2015.6.12 共同点検

#### 課題

M

・ 河川水位、洪水予報、水防警報、重要水防箇所等の情報がどのように活用されるのか、個々の水防団員への周知が不足している。

M

・ 住民を対象とした合同巡視が対象地区全てでは実施されておらず、リスク情報の周知が十分とは言えない。

## 4. 現状の取組状況

### ②水防に関する事項

『河川水位や洪水リスク等に係る情報提供』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、  
『その他』

#### 現状

- ・水防資機材は各関係機関において、事務所・水防拠点等に保有している。



水防資材倉庫



資機材保有状況

#### 課題

N

- ・市街地周辺や浸水被害が大きい上流部における水防資機材保管場所が確保されていないことから、資機材搬入時間の短縮が求められる。

## 4. 現状の取組状況

### ②水防に関する事項

『河川水位や洪水リスク等に係る情報提供』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、  
『その他』

#### 現状

- ・ 災害発生時に地域で相互に協力できるよう、「水防工法実技訓練」を毎年実施している。
- ・ 町内会単位で防災意識向上に関する取組を行っている。

蘭越町水防工法実技訓練  
(平成27年6月12日実施)



#### 課題

○

- ・ 水防団員が減少傾向になっていることとあわせ、水防活動に関する専門的な知識等を習得する機会が少なく、量的にも質的にも増加している作業を的確にできないことが懸念される。

## 4. 現状の取組状況

### ③氾濫水の排水、施設運用等に関する事項

#### 『排水施設、排水資機材の操作、運用』

#### 現状

- ・ 水防体制強化のため、水防資機材を活用し、関係機関と連携した水防訓練を実施している。
- ・ 樋門操作を確実にを行うために樋門遠隔操作を整備や出水期前に操作点検を実施している。
- ・ 排水作業を迅速に行うための排水ポンプ釜場を整備するとともに、排水ポンプ車の運転委託による内水排除対策を実施している。
- ・ 水防資機材は事務所、水防拠点・資材備蓄基地等に保有しており、非常時には水防団等への貸し出しが可能である。



関係機関と連携した排水訓練



資機材保有状況



#### 課題

P

- ・ 大規模浸水時に早期に排水を行うため、既存の排水施設、排水系統、資機材の保有状況等を把握し、関係機関の連携による排水計画を検討する必要がある。
- ・ 排水計画に基づく迅速かつ効果的な排水作業を実施するための排水ポンプ釜場を整備する必要がある。

Q

- ・ 広域的な排水ポンプ・資機材等の保有状況や非常時における支援要請手順、各関係機関の連絡窓口について、情報共有が図られていない。

## 4. 現状の取組状況

### ④河川管理施設の整備に関する事項

『堤防等河川管理施設の現状の整備状況及び今後の整備内容』

#### 現状

- ・ 流下能力が不足している河道に対し、流下断面を確保するため、国管理区間上流部で河道掘削を実施している。
- ・ 危機管理型ハード対策として、堤防裏法尻の補強を実施している。



#### 課題

R

- ・ 蘭越市街地周辺における河道断面が計画に対して不足しており、洪水により氾濫するおそれがある。
- ・ 洪水の越水により、堤防が決壊するおそれがある。

## 5. 減災のための目標

### ■ 5年間で達成すべき目標

尻別川の大規模水害に対し

「迅速・確実な避難のための防災意識向上」、  
「社会経済被害の最小化」を目指す。

### ■ 上記目標達成に向けた3本柱

尻別川において水災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、以下の取り組みを実施。

1. 大規模水害に備えた迅速かつ確実な**避難行動のための取組**
2. 洪水氾濫被害軽減のための的確・迅速な**水防活動に関する取組**
3. 社会経済活動の**早期復旧のための取組**

## 6. 概ね5年で実施する取組

### 1) ハード対策の主な取組

- 洪水を河川内で安全に流す対策
- 危機管理型ハード対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

### 2) ソフト対策の主な取組

#### ① 大規模水害に備えた迅速かつ確実な避難行動のための取り組み

##### ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・ 想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所、避難経路及び避難方法の見直し検討を行いハザードへ反映
- ・ 道路管理者との連携による、避難経路及び、避難行動の遅れに備えた沿道施設の活用の検討
- ・ 道路管理者等による、浸水に伴う交通途絶情報を共有する連絡体制の確立
- ・ 地域毎の利用可能避難施設までの避難時間を踏まえた、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上
- ・ タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施
- ・ 避難勧告等の発令を判断するための情報や住民への情報伝達方法・伝達内容についての町職員向けマニュアルの作成及び地域防災計画のみ見直し
- ・ 水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等の実施
- ・ 分かりやすい洪水予報伝文への改良
- ・ 警報・注意報の「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象になる可能性」の情報提供

##### ■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- ・ 想定し得る最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
- ・ 想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知
- ・ 想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、まるごとまちごとハザードマップの作成と周知
- ・ 児童生徒を中心に尻別川の洪水特性を踏まえた防災教育の実施
- ・ 関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会開催
- ・ 消防組合・蘭越建設協会と連携した「水防工法実技訓練」実施
- ・ ホームページや広報誌等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実

#### ② 洪水氾濫被害軽減のための的確・迅速な水防活動に関する取組

##### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- ・ 毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施
- ・ 関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した水防訓練を継続実施
- ・ 水防団等への連絡体制を再確認し、伝達訓練を実施
- ・ 迅速な水防活動を支援するため、上流部における一時的な保管方法を検討のうえ、水防資機材を充実
- ・ 的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員の確保を図る
- ・ 自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認

#### ③ 社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

##### ■ 氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

- ・ 想定し得る最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成
- ・ 防災支援機関等と連携した排水訓練を実施するとともに、訓練を通じて排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認
- ・ 蘭越建設協会との協定による、水防資機材の保有状況や作業計画の確認
- ・ 想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化を促進
- ・ 避難遅れによる孤立者等を想定した救助活動に関わるヘリポートや避難場所等の事前調整を行い、地域防災計画へ反映



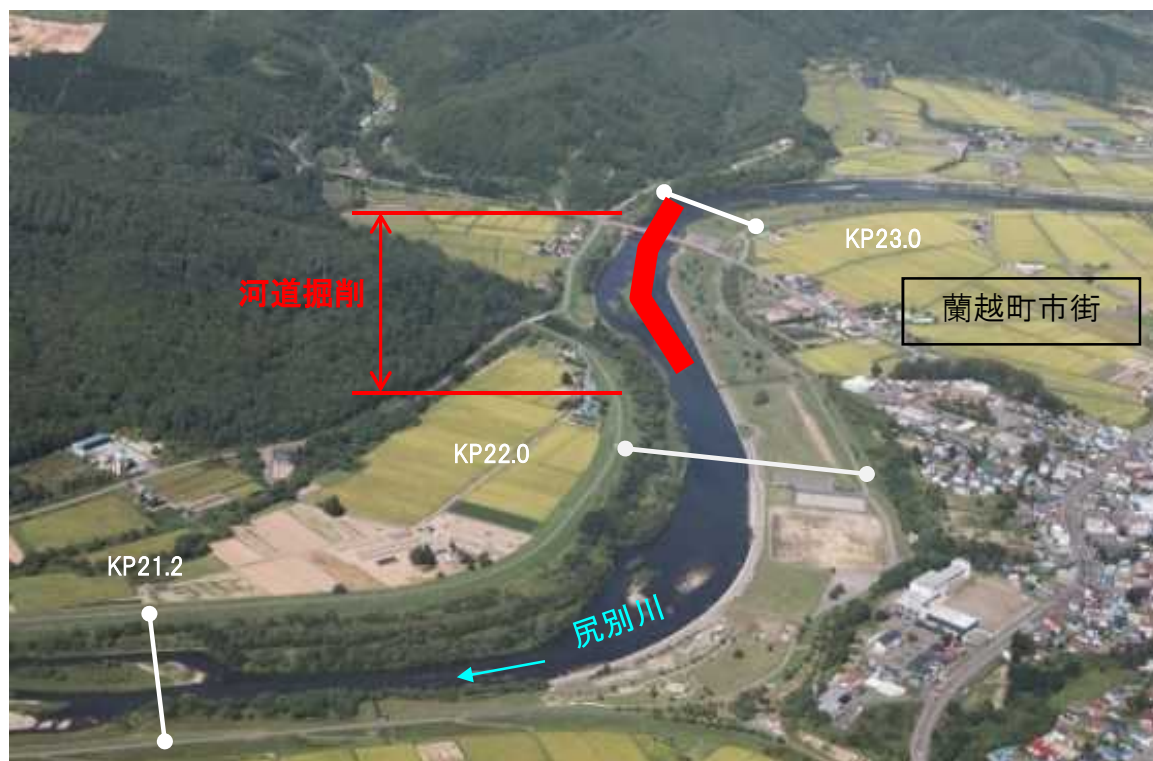
## 6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■洪水を河川内で安全に流す対策

課題対応: R

○豊国地区の河道掘削

【平成32年度:小樽開発建設部】



豊国地区河道掘削

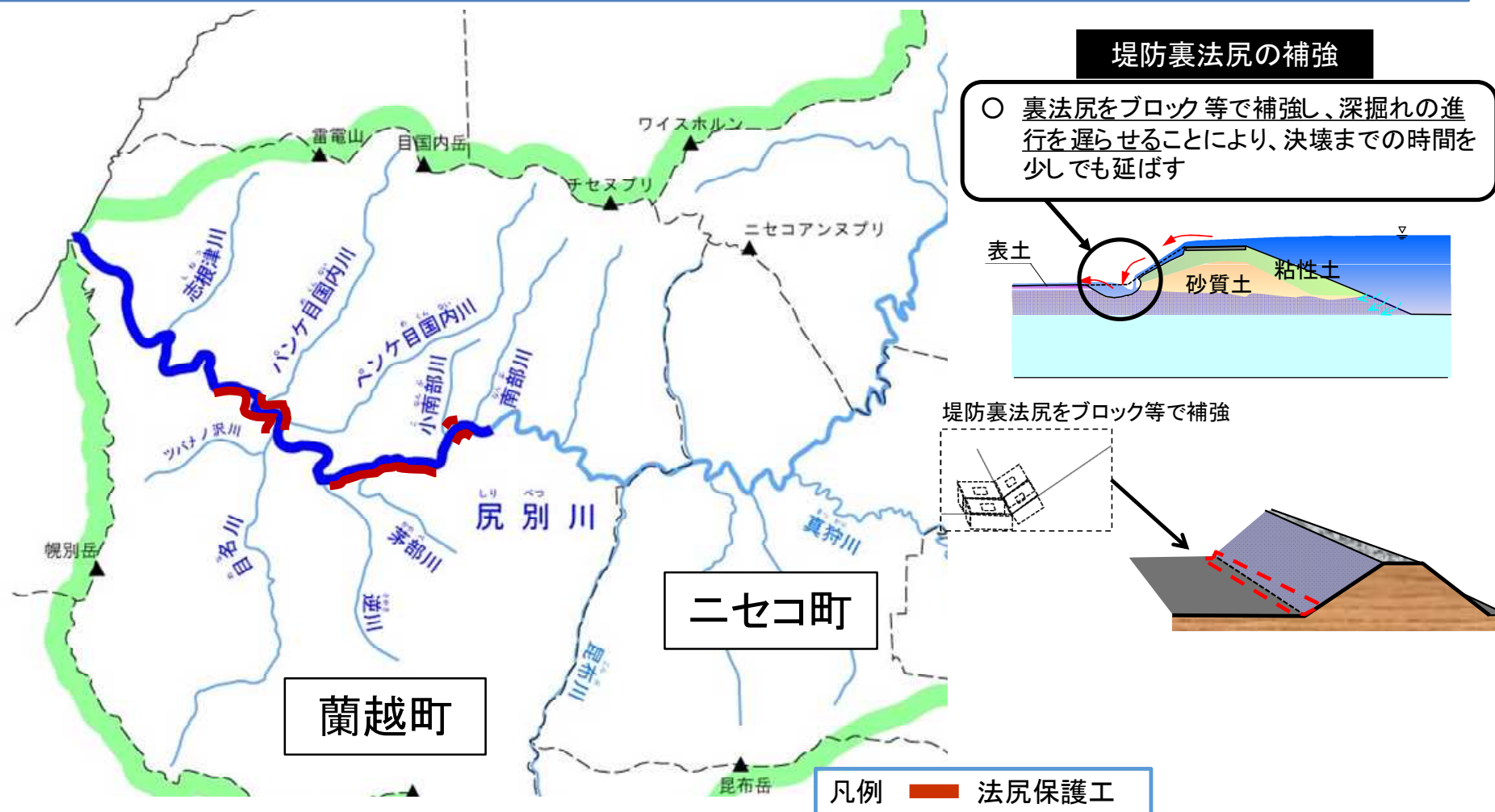
## 6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

### ■危機管理型ハード対策

課題対応: **R**

○氾濫リスクが高いにも関わらず、当面の間、上下流バランスの観点から堤防整備に至らない区間などについて、決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、堤防構造を工夫する対策を実施。

【平成32年度:小樽開発建設部】



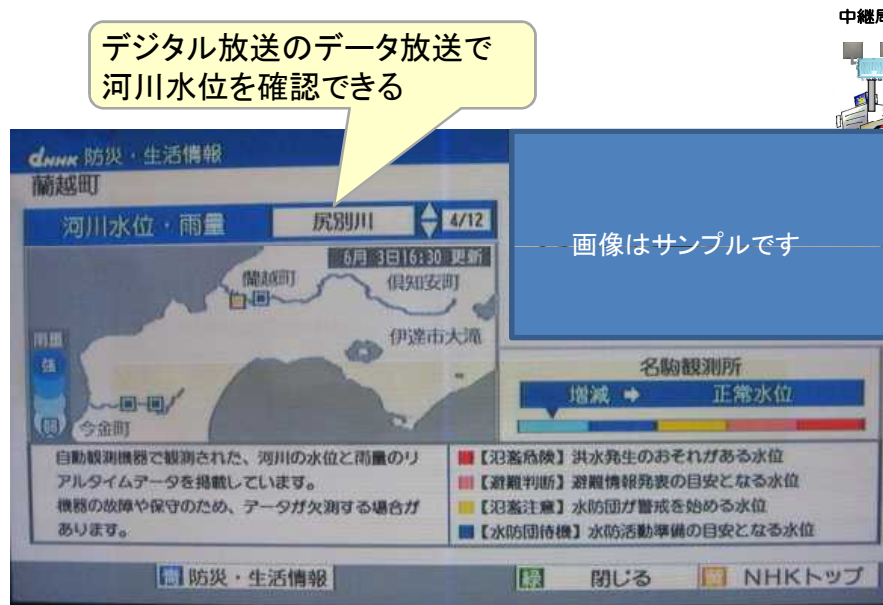
## 6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

### ■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応:



- スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築 【平成29年度:小樽開発建設部】
- 洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築 【平成29年度:小樽開発建設部】
- 特に高齢者等の災害時要配慮者に配慮した、新たな防災通信システムの整備による確実な情報伝達方法の確立 【平成26年度～平成28年度:蘭越町】



NHKデータ放送画面



防災通信システムの整備

- 排水計画に基づく樋門釜場の整備【平成32年度:小樽開発建設部】

課題対応:

P

樋門釜場の整備



# 6. 概ね5年で実施する取組～大規模水害に備えた迅速かつ確実な避難行動のための取り組み

## ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **B** **C** **L**

- 地域毎の利用可能避難施設までの避難時間を踏まえた、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上
- タイムラインを活用した、関係機関との連携による訓練の実施  
【平成28年度から実施:小樽開発建設部、札幌管区気象台、後志総合振興局、蘭越町、自衛隊、警察】
- 避難勧告等の発令を判断するための情報や住民への伝達方法・伝達内容についての町職員向けマニュアルの作成及び地域防災計画の見直し  
【平成32年度:蘭越町】

### 台風の接近・上陸等に伴う大規模な洪水を対象とした、尻別川水系尻別川直轄河川管理区間沿川の市町村の避難勧告の発令等に着目したタイムライン【防災行動計画】(案)のイメージ (H27.11)

※避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン(案)(内閣府:平成26年4月)を参考に作成。また、北海道からの情報もあるが、留意している。  
※気象・水害に関する発表のタイミングや各機関の行動等については、昭和50年8月台風6号洪水による気象状況、市町村の防災業務に関する計画等を参考に記載しており、実際の洪水では地域・事象等により異なることがある。  
また、今後の洪水を踏まえ、見直しを実施するものである。



関係機関と連携した訓練の実施を通じ精度向上



関係機関との共同訓練

### 避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン(平成27年8月改定)

- 主な経緯**
- 平成17年 3月 ガイドラインの策定
  - 平成26年 4月 ガイドラインの全面改定
  - 平成26年 8月 広島市において大規模な土砂災害が発生
  - 平成26年11月 土砂災害防止法の改正
  - 平成27年 5月 水防法の改正
  - 平成27年 6月 中央防災会議「総合的な土砂災害対策検討WG」報告

- 主な変更点**
- 避難準備情報の活用**
- 土砂災害警戒区域・危険箇所等の住民は、避難準備情報の段階から自発的に避難を開始することを推奨
  - 高潮災害を対象とした避難準備情報の発令の考え方を新設
  - 災害が切迫した状況では、以下も避難行動として周知  
「緊急的な待避場所」への避難（近隣のより安全な場所、より安全な建物等）  
「屋内での安全確保措置」（屋内のより安全な場所への移動）

- 避難場所・避難行動**
- 避難場所を避難準備情報の発令段階から開設し始め、避難勧告発令までの開設完了を推奨
  - 避難勧告の発令基準を満たしたら、避難場所の開設を終えていなくても避難勧告を発令
  - 災害が切迫した状況では、以下も避難行動として周知  
「緊急的な待避場所」への避難（近隣のより安全な場所、より安全な建物等）  
「屋内での安全確保措置」（屋内のより安全な場所への移動）

- 土砂災害を対象とした避難勧告等の発令**
- 避難勧告等発令タイミングや発令対象地域の判断情報に、土砂災害に関するメッシュ情報を活用（改めて強調）
  - 市町村の面積の広さ、地形、地域の実情等に応じて、発令対象地域をできるだけ絞り込む（市町村をあらかじめいくつかの地域に分割して、避難勧告等の発令対象地域として設定）

- 水害・高潮災害を対象とした避難勧告等の発令**
- 災害規模に応じた避難勧告等の発令対象地域をあらかじめ設定
  - 水位周知下水道、水位周知海岸の避難勧告等の発令に際しては、氾濫危険情報を活用

- 避難勧告等の情報伝達**
- Lアラートの活用を推奨
  - 住民への情報伝達では、PUSH型とPULL型の双方を組み合わせて多様化・多重化（改めて強調）
  - 避難勧告等の発令に係る情報伝達については、伝達する範囲をあらかじめ検討することを推奨（同報系防災行政無線等のPUSH型手段を活用）

- 今後の予定**
- 避難勧告等の判断・伝達に関する全国市町村の優良事例の収集・紹介やQ&Aを作成し共有
  - 適時適切な住民の避難行動を促すための取組を推進

## 6. 概ね5年で実施する取組～大規模水害に備えた迅速かつ確実な避難行動のための取り組み

### ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **E F G H**

○ 水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した、避難場所等の確保・訓練等の実施【平成32年度: 蘭越町、後志総合振興局、自衛隊、警察】

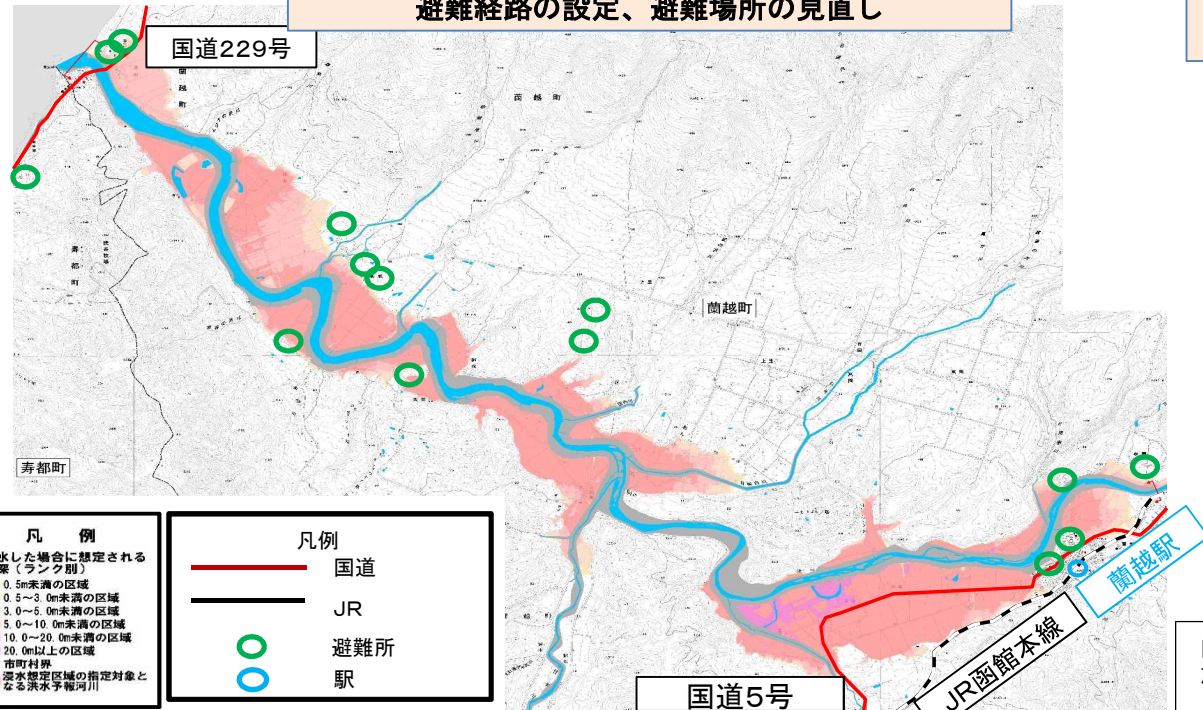
○ 想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し、避難経路の検討を行い、ハザードマップへ反映【平成30年度: 蘭越町】

○ 道路管理者との連携による、避難経路及び、避難行動の遅れに備えた沿道施設の活用の検討【平成28年度から検討実施: 小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町】

○ 道路管理者等による、浸水に伴う交通途絶情報を共有する連絡体制の確立

Ⓚ【平成28年度から検討実施: 小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町、JR北海道】

#### 避難経路の設定、避難場所の見直し



#### 災害時要配慮者利用施設における避難確保計画の作成

医療施設等（病院、診療所、助産所、介護老人保健施設等）  
に係る避難確保計画作成の手引き（案）

（洪水・内水・高潮編）

平成27年7月

国土交通省水管理・国土保全局

河川環境課水防企画室

この手引きは、水防法（昭和24年法律第193号）に基づき作成する、洪水・内水・高潮時（以下「洪水時等」という）における避難確保計画について、記載例と留意事項等を示したものである。

市町村地域防災計画に定める医療施設等（病院、診療所、助産所、介護老人保健施設等）ではこれを参考に、施設の種別や立地条件等の実態に即した計画を作成することが望ましい。

なお、本手引きは、洪水・内水・高潮を対象としているが、津波防災地域づくりに関する法律に基づき作成する、津波を対象とした避難確保計画とも整合を図ることが望ましい。

また、本手引きは、新たに作成する避難確保計画を念頭に記載例等を示したものであるが、消防計画や地震等の災害に対処するための具体的な計画を定めている場合には、既存の計画に「洪水時等の避難確保計画」の項目を追加することも良い。避難確保計画の作成にあたっては、市町村が作成する洪水ハザードマップ、内水ハザードマップ、高潮ハザードマップ（以下「洪水ハザードマップ等」という）を

医療施設等（病院、診療所、助産所、介護老人保健施設等）に係る避難確保計画作成の手引き（案）  
（洪水・内水・高潮編）【国土交通省】

## 6. 概ね5年で実施する取組～大規模水害に備えた迅速かつ確実な避難行動のための取組み

### ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **A** **B** **J**

- わかりやすい洪水予報伝文への改良【平成28年度 小樽開発建設部、札幌管区气象台】
- 警報・注意報発表時の「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象になる可能性」の情報提供【平成29年度:札幌管区气象台】

大雨等の危険度を時系列で視覚的に分かりやすく表示します  
～危険度を色分けした時系列～ (平成29年度から)

平成〇〇年〇〇月10日 16時30分 〇〇地方气象台発表  
〇〇県の注意警戒事項  
〇〇県では、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水、落雷に注意してください。

〇〇町  
[発表] 大雨, 洪水注意報  
[継続] 雷注意報  
特記事項 土砂災害注意 浸水注意  
1 1日明け方までに大雨警報(浸水害)に切り替える可能性が高い  
1 1日明け方までに洪水警報に切り替える可能性が高い

**イメージ**

時系列で危険度を色分けした分かりやすい表示で提供

どの程度の強度(危険度)の現象が、どのくらい先の時間帯(切迫度)に発現すると予想されているのかを、視覚的に把握しやすい形で伝えます。

〇〇町	今後の推移(■特別警報級 ■警報級 ■注意報級)	備考・関連する現象									
		10日			11日						
		15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	
大雨 (土砂災害) (浸水害) 1時間最大雨量(ミリ)											以後も注意報級 土砂災害注意
		30	50	50	50	60	60	40			浸水注意
洪水 (洪水害)											
雷											突風

黄色の時間帯は、注意報級の現象が予想されています。

赤色の時間帯は、警報級の現象が予想されています。

**これからの危険度の高まりを即座に把握できる!**

※ 平成29年度出水期から気象庁ホームページでの表示を予定しています。

気象庁HP  
報道発表資料より

## 6. 概ね5年で実施する取組～大規模水害に備えた迅速かつ確実な避難行動のための取り組み

### ■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

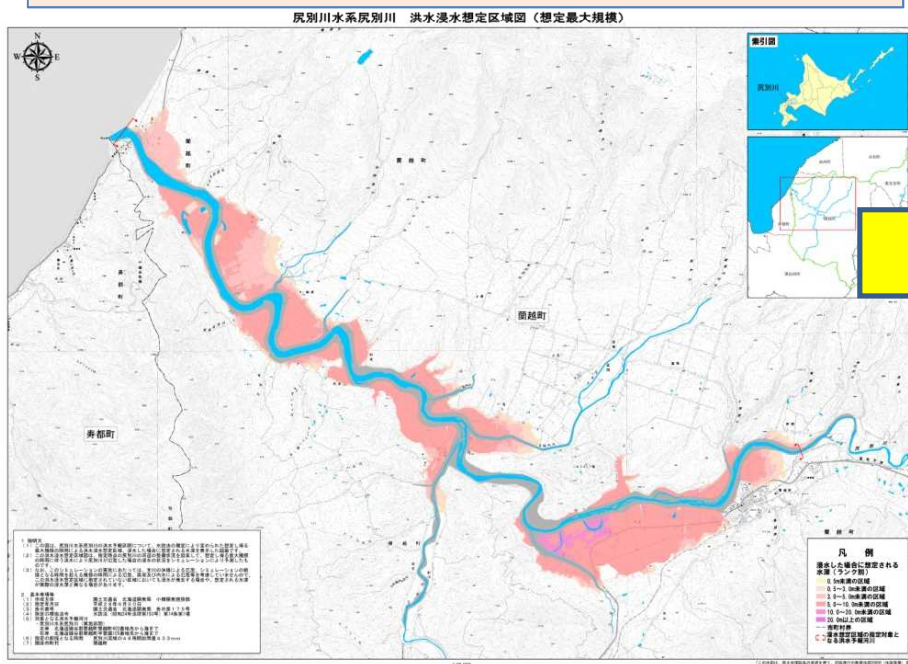
課題対応: **D**

○ 想定し得る最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表  
【平成28年度:小樽開発建設部】(6月30日公表済み)

○ 想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知  
【平成30年度:小樽開発建設部、蘭越町】

○ 想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるごとまちごとハザードマップの作成と周知  
【平成31年度:小樽開発建設部、蘭越町】

#### ○ 想定最大規模も含めた浸水想定区域図の公表



想定し得る最大規模浸水想定区域図 (H28. 6. 30公表)

#### ○ ハザードマップ・防災マップの作成・周知



○ まるごとまちごとハザードマップ

## 6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

### ■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応:

A

D

J

- 児童・生徒を中心に尻別川の洪水特性を踏まえた防災教育の実施
- 関係機関の職員及び住民を対象とした防災支援機関と連携した水防災に関する防災講演会や講習会の開催
- ホームページや広報誌等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実

【引き続き定期的実施：小樽開発建設部、札幌管区气象台、後志総合振興局、蘭越町】



防災教育の実施状況



防災検討委員会



## 6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

### ■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応:

○ 消防組合・蘭越建設協会と連携した「水防工法実技訓練」の開催

【引き続き定期的実施: 小樽開発建設部、札幌管区気象台、後志総合振興局、蘭越町、自衛隊、警察】



水防工法実技訓練の実施状況

## 6. 概ね5年で実施する取組～社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組

### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: M

- 毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施

【引き続き定期的実施:小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町、自衛隊、警察、JR北海道、北海道電力】

課題対応: K L M O

- 関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した伝達訓練、水防訓練を継続実施

【引き続き定期的実施:小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町、自衛隊、警察】



共同点検



情報伝達訓練

## 6. 概ね5年で実施する取組～社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組

### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **N** **P** **Q**

○ 迅速な水防活動を支援するため、上流部における一時的な保管方法を検討の上、水防資機材を充実  
【平成28年度から実施: 小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町】

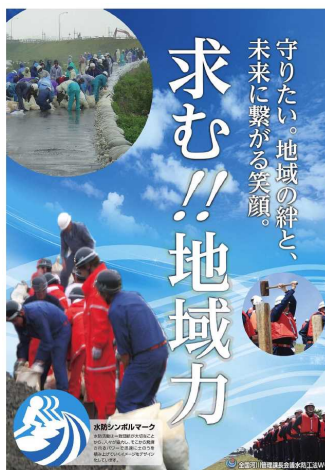
課題対応: **K** **O** **Q**

○ 的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員の確保を図る  
【平成28年度から実施: 蘭越町】

○ 自衛隊の災害派遣要請に関わる調整方法について確認  
【平成28年度: 小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町、自衛隊、警察】



水防資材倉庫



ポスター掲示による水防団員の募集



自衛隊の災害派遣

## 6. 概ね5年で実施する取組～社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

### ■ 社会経済活動の早期復旧に関する取り組み

課題対応: **G** **N** **P** **Q**

- 想定し得る最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成  
【平成30年度:小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町】
- 防災支援機関等と連携した排水訓練を実施するとともに、訓練を通じて排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認  
【引き続き定期的に実施:小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町】
- 蘭越建設協会との協定による、水防資機材の保有状況や作業計画の確認  
【平成28年度から実施:蘭越町】



災害協定業者との排水作業訓練



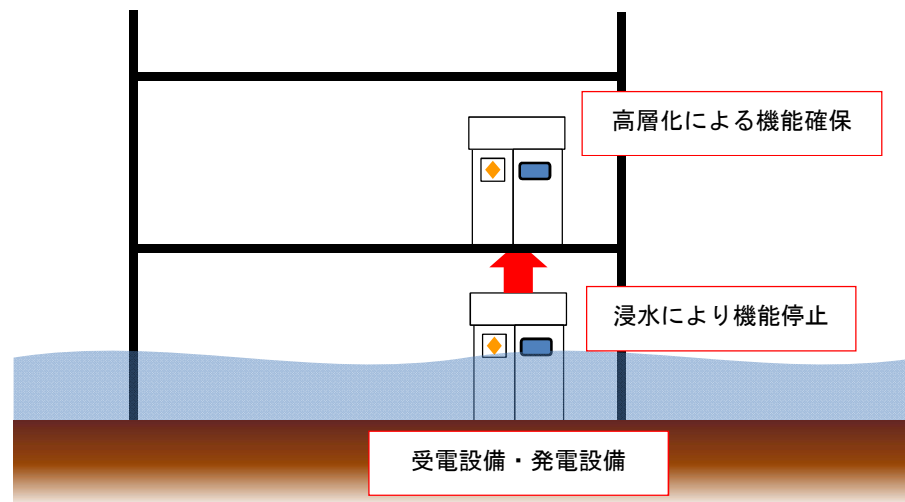
関係機関との調整に関する体制を確認

## 6. 概ね5年で実施する取組～社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

### ■ 社会経済活動の早期復旧に関する取り組み

課題対応: E

○ 想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化を検討  
【平成28年度から実施:小樽開発建設部、蘭越町】



非常用電源の確保、電源設備の高層化



遮水設備による浸水の防止（イメージ）

## 6. 概ね5年で実施する取組～社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

### ■ 社会経済活動の早期復旧に関する取り組み

課題対応: **E** **G** **H**

○避難遅れによる孤立者等を想定した救助活動に関わるヘリポートや避難場所等の事前調整を行い  
地域防災計画へ反映【平成28年度から実施:小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町、自衛隊、警察】



平成27年9月関東・東北豪雨 鬼怒川決壊



グラウンドをヘリポートとして活用



ヘリコプターによる孤立者の救助

## 7. フォローアップ

各関係機関の取組については、必要に応じて防災業務計画や地域防災計画等に反映することなどによって責任を明確にし、組織的、計画的、継続的に取り組むこととする。

原則、委員会を毎年出水期前に開催し、取組の状況を確認し、必要に応じて取組方針を見直すこととする。また、実施した取組についても訓練等を通じて習熟、改善を図る等、継続的なフォローアップを行うこととする。

なお、今後全国で作成される他の取組方針の内容や技術開発の動向等を収集したうえで、取組項目を見直すこととする。

フォローアップ調査表参考例

大項目	中項目	小項目	取組主体	進捗達成度					その他 (実施にあたっての問題点・要望等)
				平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取り組み	情報伝達、避難計画等に関する事項	避難勧告に着目した防災行動計画(タイムライン)について、関係機関と連携した訓練の実施を通じ、制度向上を実施							
〇〇	〇〇	〇〇							
〇〇	〇〇	〇〇							